

授業科目	家庭支援論	2単位	選択	講義	2学年前期	担当教員	准教授 小野崎美奈子			
授業の概要	① 子どもの育つ場としての家族・家庭の役割を検討し、子どもと家族・家庭の関係やその役割について理解する。 ② 子育てを家庭を支える法・制度及び社会資源を学び、子育てをめぐる諸課題に対しての社会的支援を理解する。 ③ 諸外国の子育て支援制度を知り、国際比較を通して日本の子育て支援を客観的に見つけ、支援における基本的な理念を理解する。									
到達目標		学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 子どもが育つ場として捉えた時の、家族・家庭の役割を理解する。			◎	○	◎				○	
2. 子育てをめぐる諸問題とその背景を理解し、子育て家庭の支援における保育者としての役割に気づく。		◎	◎	○	◎	○	◎	○	○	
3. 子育て家庭の支援に関する政策動向及び支援の実際について理解を深め、諸外国の例との比較から現状と課題を客観的に把握する。			◎	○	◎	○			○	
4. 多様な背景をもつ子どもたち一人ひとりの心に寄り添う支援の在り方について、考察を深める。		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照										
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習			
1	オリエンテーション 子ども家庭支援の意義と必要性	シラバスに目を通しておく。	<ul style="list-style-type: none"> 授業の進め方及び評価の方法を理解する。 子どもが育つ場としての「家族」「家庭」の役割について考える。 				今後の学びの見通しを立てる。本時の学習内容をまとめておく。			
2	子どもと家庭を取り巻く環境	教科書11ページ～25ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 家庭の動向と現状家族・家庭の動向と現状について理解し、家庭支援における今日的課題について考える。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
3	保育者による子ども家庭支援の意義と基本(1)	教科書27ページ～41ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援の基本的考え方や子ども家庭支援の基本的視点を考える。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
4	保育者による子ども家庭支援の意義と基本(2)	教科書27ページ～41ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 保育者の専門性を活かした子ども家庭支援を検討する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
5	子育て家庭支援の法と制度(1)	教科書42ページ～60ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭を支援する具体的な制度について理解を深め、法制度が整備されることになった社会的背景と共に理解する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
6	子育て家庭支援の法と制度(2)	教科書42ページ～60ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭を支援する具体的な制度について理解を深め、活用できる社会資源を検討する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
7	保育者に求められる基本的態度及び基本的技術	教科書61ページ～78ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども家庭支援の目的を確認し、相談・援助者の役割と基本的態度について理解する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
8	保育者が行う子ども家庭支援の実際(1)	教科書79ページ～92ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 子育て家庭における援助の実際を「保育園通園児の家庭」への支援を基に学び、保育者の役割と基本的態度について理解を深める。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
9	保育者が行う子ども家庭支援の実際(2)	教科書93ページ～102ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 地域における子育て家庭への支援の実際について具体的に学ぶ。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
10	保育者が行う子ども家庭支援の実際(3)	教科書103ページ～124ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭等への支援の実際について理解する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
11	保育者が行う子ども家庭支援の実際(4)	教科書103ページ～124ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 外国とつながりのある子育て家庭への支援の実際について理解する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			
12	保育者が行う子ども家庭支援の実際(5)	教科書125ページ～137ページを読んでおく。	<ul style="list-style-type: none"> 不適切な養育環境にある子どもとその家庭に対する支援の実際について理解する。 				章末の「まとめてみよう」に取り組む。			

1 3	保育者が行う子ども家庭支援の実際 (6)	教科書138ページ～148ページを読んでおく。	・障害のある子どもとその家庭に対する支援の実際について理解する。	章末の「まとめてみよう」に取り組む。
1 4	保育者が行う子ども家庭支援の実際 (7)	教科書149ページ～164ページを読んでおく。	・子どもの貧困の現状を理解し、子ども貧困問題における支援のあり方を理解する。	章末の「まとめてみよう」に取り組む。
1 3	世界の子育て (1)	フィンランドの子育て支援について調べておく。	・フィンランドの子育て支援を、資料に基づいて学び、日本における支援を客観的に理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
1 4	世界の子育て (2)	カナダの子育て支援についてまとめておく。	・カナダの子育て支援を、資料に基づいて学び、日本におけるの支援を客観的に理解する。	本時の学習内容をまとめておく。
1 5	まとめ	教科書165ページ～175ページを読んでおく。	・保育者にとって多様な背景を抱える子どもたち一人ひとりの心に寄り添う支援の在り方について考察を深める。	本時の学習内容をまとめておく。学びの成果と課題を把握する。
成績 評価	講義への取り組み (態度、レポート等の提出物) (40%) 期末試験 (60%) 合計100%			
教員からの コメント	保育者は子どもたちへの保育を通して関わる中で、子どもの保護者や家庭に対して支援を行っていきます。複雑多様化する家庭の現代的課題に向き合いながら、子どもの育ちと家庭の子育て力を支える実践力を高めていただき、支援の基本的知識を習得するとともに子育て支援を展開する姿勢や態度を身に着けていただきたいと思います。			
教科書	書名 保育と子ども家庭支援論 著者 石動瑞代・中西遍彦・隣谷正範 発行所 株式会社みらい	推薦 図書	必要に応じて随時紹介する。	